

自動車盗の発生状況(令和6年1月末)

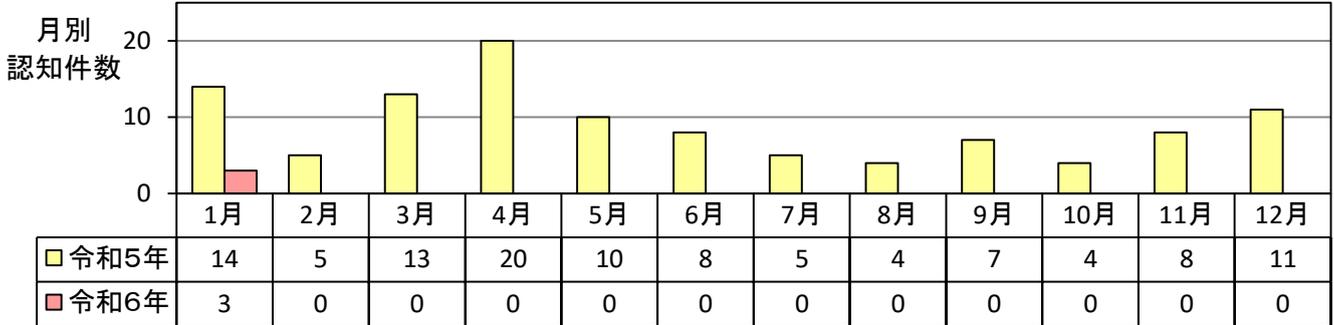
街頭
犯罪

1 認知件数

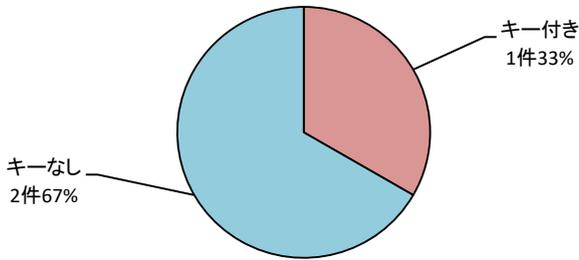
| 認知件数 | 前年比 | 増減率 | 被害回復件数 | 被害回復率 |
|------|-----|--------|--------|--------|
| 3 | -11 | -78.6% | 6 | 200.0% |

※ 被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

令和6年1月末、県内における自動車盗は3件発生、総被害額は約751万円、前年比-11件(増減率-78.6%)となっており、約10日に1台が盗難被害にあっています。

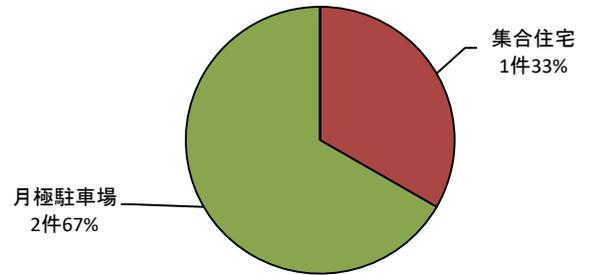


2 被害時におけるキー付きの有無



キーなし被害は67%

3 被害場所



自宅周辺による被害は100%
(自宅周辺：戸建住宅・集合住宅・月極駐車場)

4 被害車両の種別

| 車種別認知件数 | 乗用車 | 貨物自動車 | 特殊自動車 | 他の自動車 |
|---------|-----|-------|-------|-------|
| | 2 | 0 | 0 | 0 |

※ 未遂 1件

5 市町村別発生状況



～ 自動車盗難防止のポイント ～

1. 短時間の駐車でも車から離れるときは、必ず「エンジンキーを抜き」「ドアロック」をしましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. ハンドルロック、タイヤロック、警報機等の盗難防止装置を活用しましょう。

オートバイ盗の発生状況(令和6年1月末)

街頭
犯罪

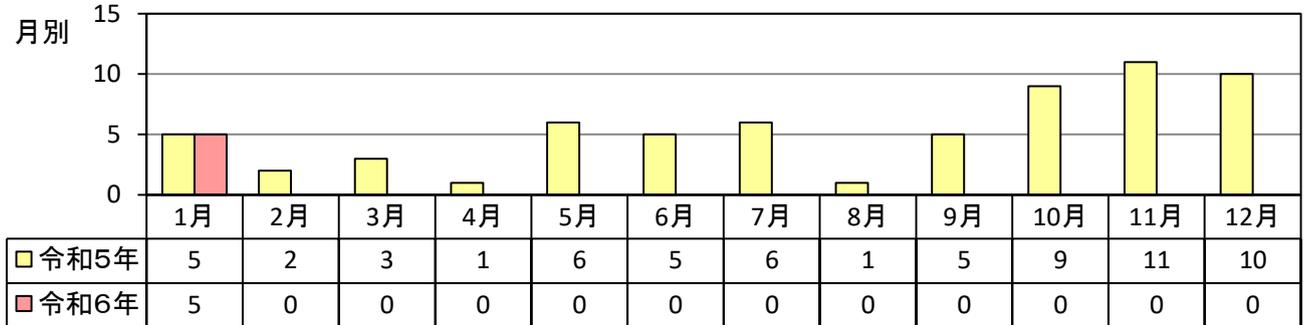
1 認知件数

| 認知件数 | 前年比 | 増減率 |
|------|-----|-----|
| 5 | ±0 | ±0% |

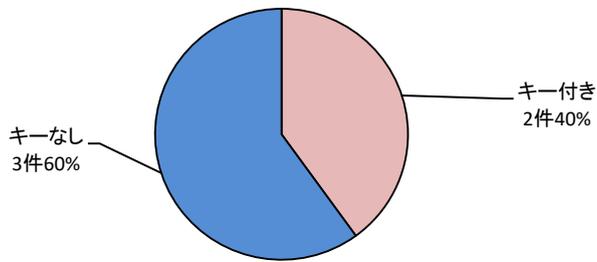
| 被害回復件数 | 被害回復率 |
|--------|-------|
| 1 | 20.0% |

※ 被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

令和6年1月末、県内におけるオートバイ盗は5件発生、前年比+0件(増減率+0.0%)となっており、5件中4件は原動機付自転車の盗難被害になります。

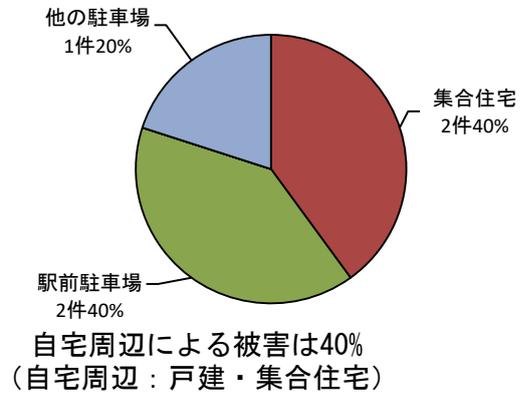


2 被害時におけるキー付きの有無



キーなし被害が60%

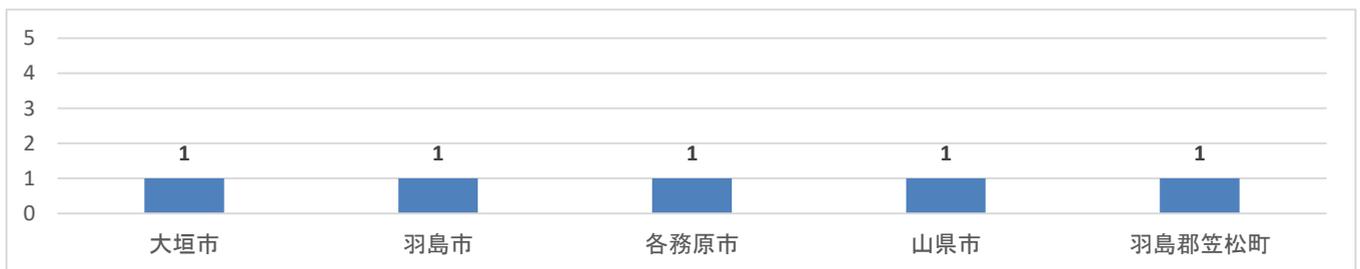
3 被害場所



4 被害者の年代

| 年齢別認知件数 | 未成年 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳以上 | 法人 |
|---------|-----|------|------|------|------|-------|----|
| | 0 | 2 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 |

5 市町村別発生状況



～ オートバイ盗難防止のポイント ～

1. オートバイから離れるときは、必ず「エンジンキーを抜き」「ハンドルロック」をしましょう。
2. U字ロックやワイヤーロックで「ツーロック」をして、バイクカバーを掛けましょう。
3. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。

自転車盗の発生状況(令和6年1月末)

街頭
犯罪

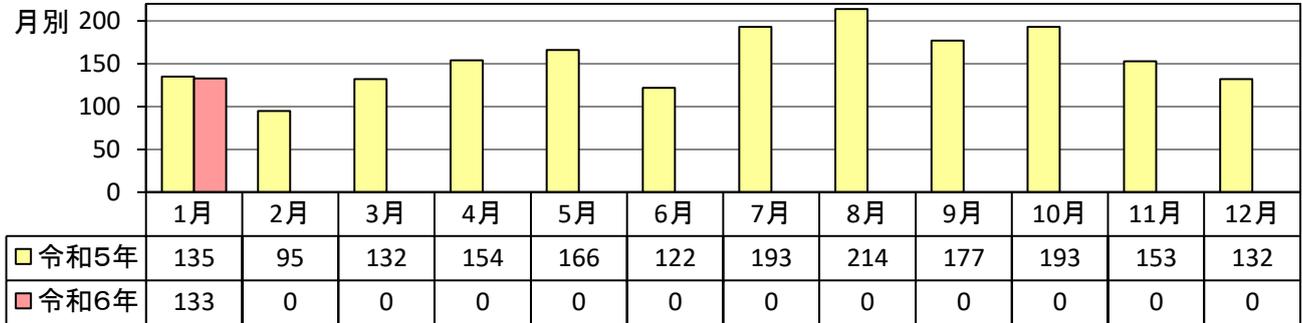
1 認知件数

| 認知件数 | 前年比 | 増減率 |
|------|-----|-------|
| 133 | -2 | -1.5% |

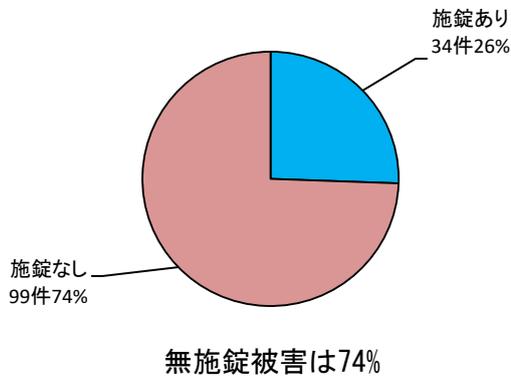
| 被害回復件数 | 被害回復率 |
|--------|-------|
| 83 | 62.4% |

※ 被害回復とは、検挙等で被害者に返還されたものをいう

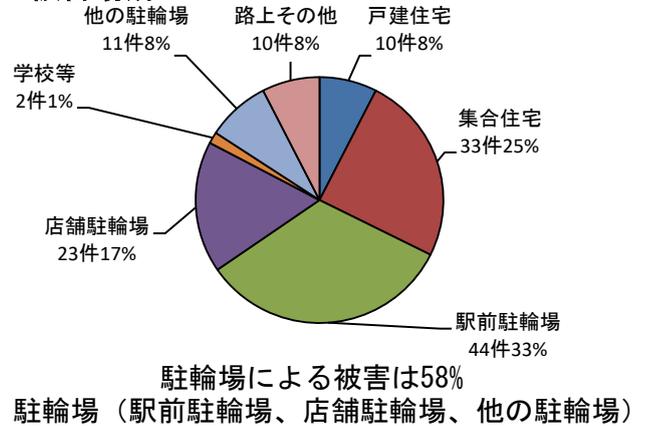
令和6年1月末、県内における自転車盗は133件発生、前年比-2件(増減率-1.5%)となっています。また、自転車盗は刑法犯全体の約13.7%を占め、1日平均約4台が盗難被害にあっています。



2 被害時における施錠の有無



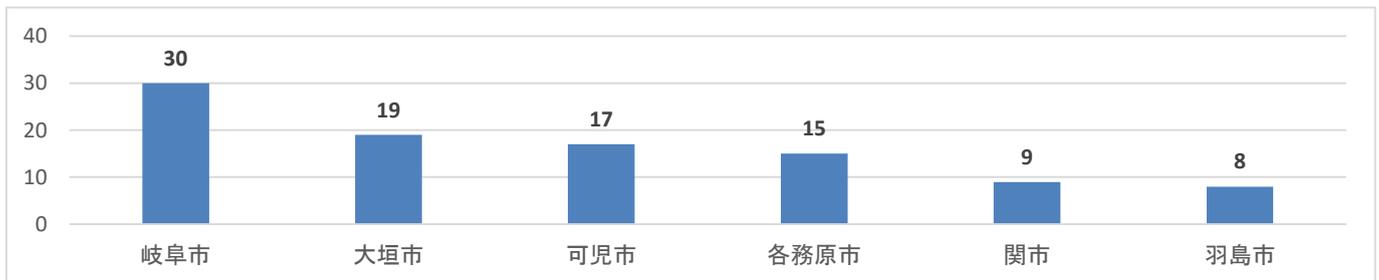
3 被害場所



4 被害者の職業

| 職業別 | 小学生 | 中学生 | 高校生 | 大学生 | 専修生等 | 学生以外 |
|---------|-----|-----|-----|-----|------|------|
| 認知件数 | 5 | 6 | 37 | 19 | 7 | 59 |
| (うち無施錠) | 4 | 5 | 30 | 15 | 5 | 40 |

5 市町村別発生状況



～ 自転車盗難防止のポイント ～

1. 少しの時間でも自転車から離れるときは、必ず鍵を掛けましょう。
2. 駐輪する際の施錠は、「ツーロック」をしましょう。
3. 駐輪する際は、防犯設備の整った駐輪場を利用しましょう。

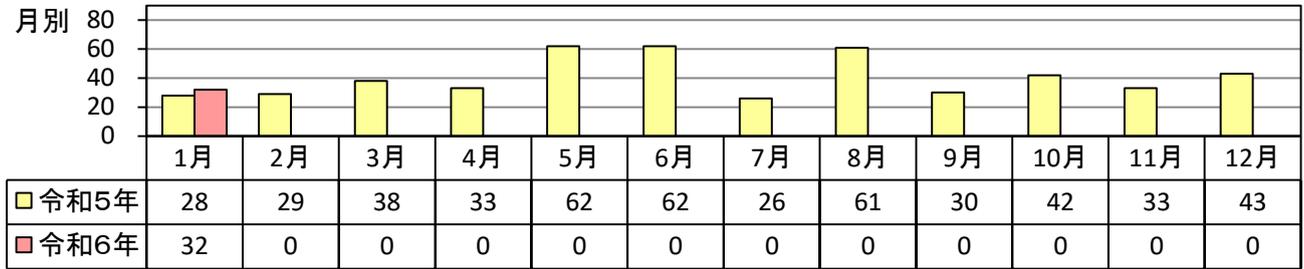
車上ねらいの発生状況(令和6年1月末)

街頭
犯罪

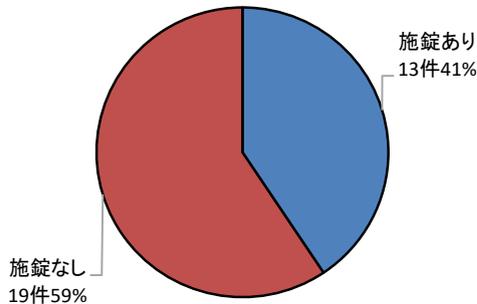
1 認知件数

| 認知件数 | 前年比 | 増減率 |
|------|-----|--------|
| 32 | +4 | +14.3% |

令和6年1月末、県内における車上ねらいは32件発生、被害総額は約311万円、前年比+4件(増減率+14.3%)となっており、1日平均約1台が盗難被害にあっています。
 車上ねらい被害のうち19件(約59%)は無施錠の状態被害にあっています。

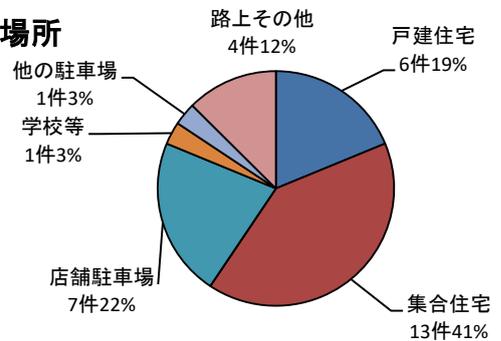


2 車両の損壊状況



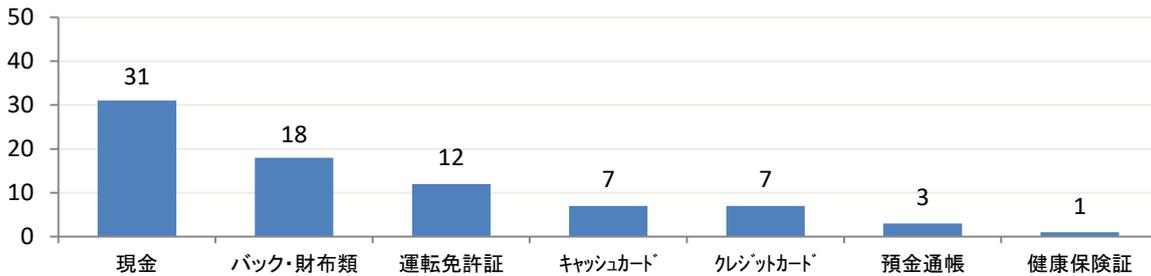
無施錠時の被害が約59%

3 被害場所

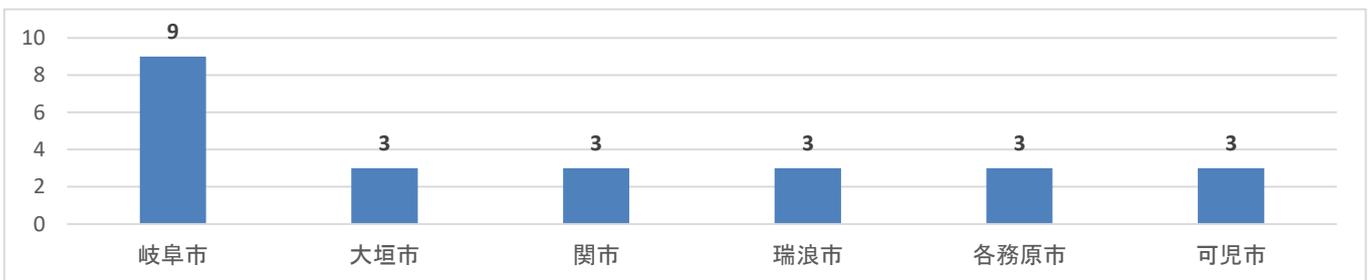


自宅周辺による被害は60%
 (自宅周辺：戸建住宅、集合住宅、月極駐車場)

4 主な被害品(被害品を複数計上)



5 市町村別発生状況



～ 車上ねらい被害防止のポイント ～

1. 駐車時には、必ず「施錠」をして、車内には「カバンや貴重品を放置しない」ようにしましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. 振動センサーなどの盗難防止装置を活用しましょう。

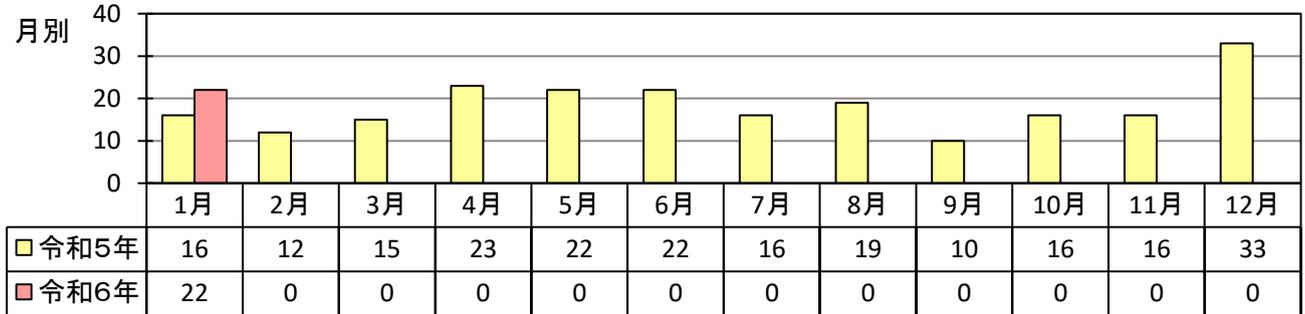
部品ねらいの発生状況(令和6年1月末)

街頭
犯罪

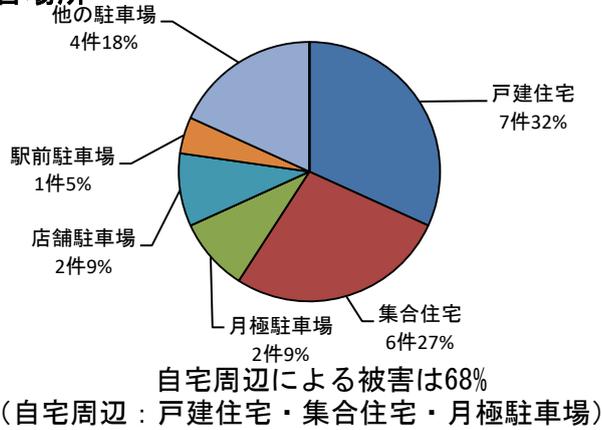
1 認知件数

| 認知件数 | 前年比 | 増減率 |
|------|-----|--------|
| 22 | +6 | +37.5% |

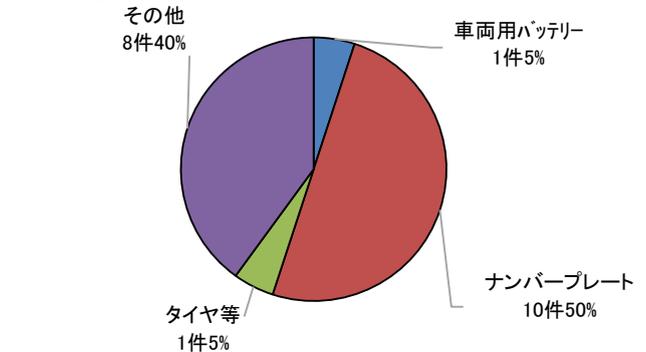
令和6年1月末、県内における部品ねらいは22件発生、被害総額は約130万円、前年比+6件(増減率+37.5%)となっており、1日に約1台が被害にあっています。



2 被害場所

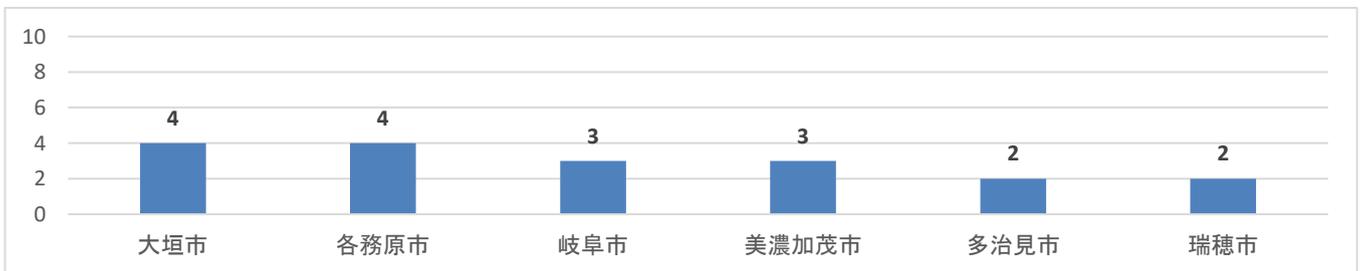


3 主な被害品



ナンバープレートやその他の車両部品(外装等)の被害が多い。
その他の車両部品(外装等)としてバッテリー、ヘッドライト、エンブレム等がねらわれている。
被害を防ぐには、
○ ナンバープレート盗難防止ネジ
○ タイヤ盗難防止ナット
○ バッテリー盗難防止ロックナット
などによる**車両部品に対する防犯対策**が必要!

4 市町村別発生状況



～ 部品ねらい被害防止のポイント ～

1. ナンバープレートには、「盗難防止ネジ」を装着しましょう。
2. 駐車場は、「明るく」「人の目が届き」「防犯カメラ等の防犯設備がある場所」を選びましょう。
3. ロックナット、警報機等の盗難防止装置を活用しましょう。

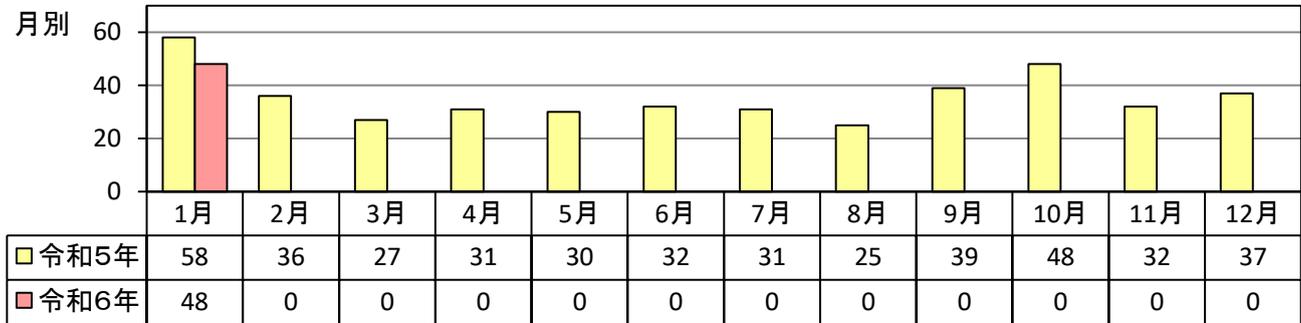
空き巣の発生状況(令和6年1月末)

侵入
犯罪

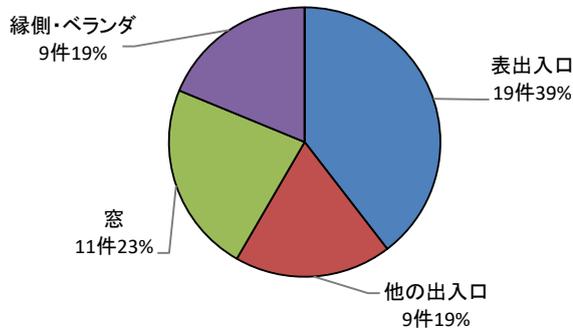
1 認知件数

| 認知件数 | 前年比 | 増減率 |
|------|-----|--------|
| 48 | -10 | -17.2% |

令和6年1月末、県内における空き巣は48件発生、被害総額は約7,126万円で、前年比-10件(増減率-17.2%)となっており、1日平均約2件発生しています。

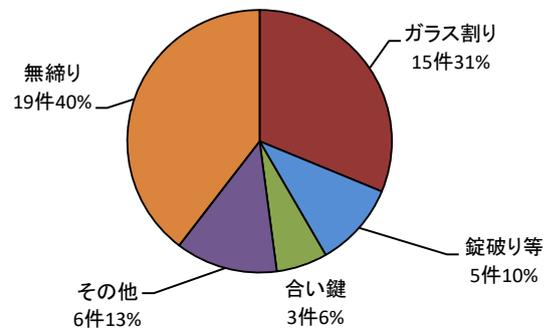


2 侵入箇所



出入口からの侵入による被害は58%

3 侵入方法



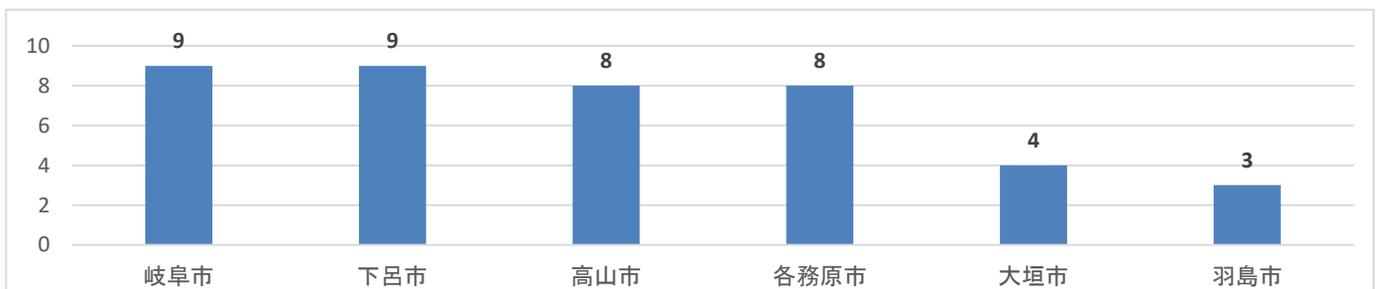
ガラス割りによる被害は31%

4 建物別発生状況

| 建物別 認知件数 | 戸建住宅 | 集合住宅(低層) | 集合住宅(中高層) | その他 |
|-------------|------|----------|-----------|-----|
| | 43 | 4 | 1 | 0 |

※ 低層 ~ 2階建て以下
中高層 ~ 3階建て以上

5 市町村別発生状況



～ 空き巣被害防止のポイント ～

1. 外出するときは、必ず出入口、窓などに鍵を掛け、無締り箇所がないか確認しましょう。
2. 家屋の外周には、侵入の足場になるような物を置かないようにしましょう。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 大きな音の出る防犯砂利やセンサーライト、防犯カメラを設置する等、2重3重の防犯対策が重要です。

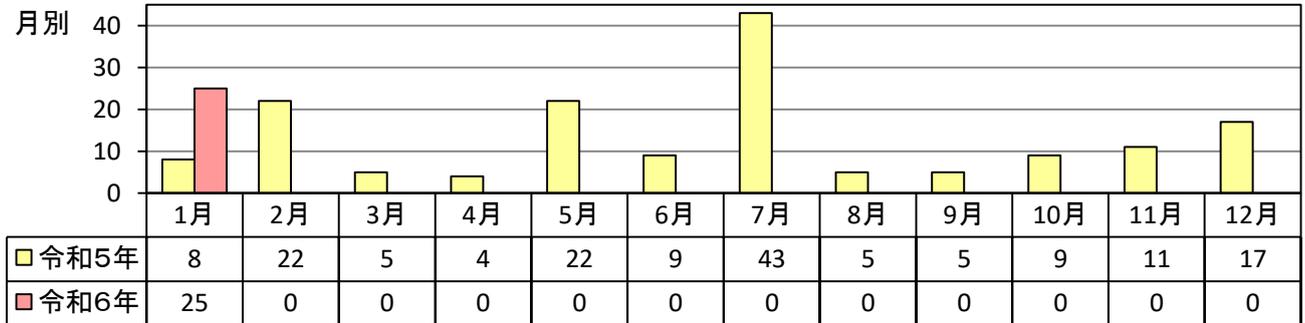
忍込みの発生状況(令和6年1月末)

侵入
犯罪

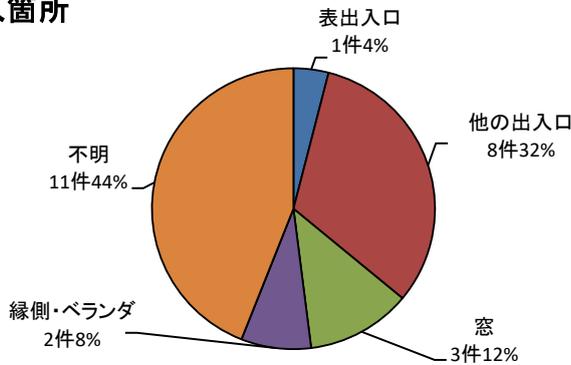
1 認知件数

| 認知件数 | 前年比 | 増減率 |
|------|-----|---------|
| 25 | +17 | +212.5% |

令和6年1月末、県内における忍込みは25件発生、被害総額は約182万円、前年比+17件(増減率+212.5%)となっており、約1日に1件発生しています。

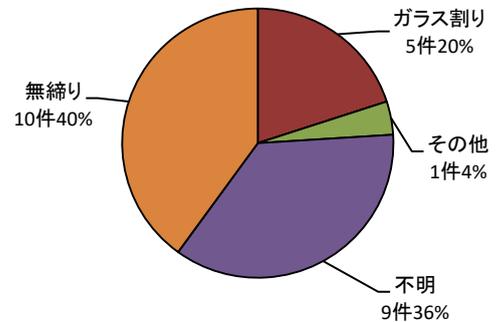


2 侵入箇所



出入口からの侵入による被害は36%

3 侵入方法



無締りによる被害は40%

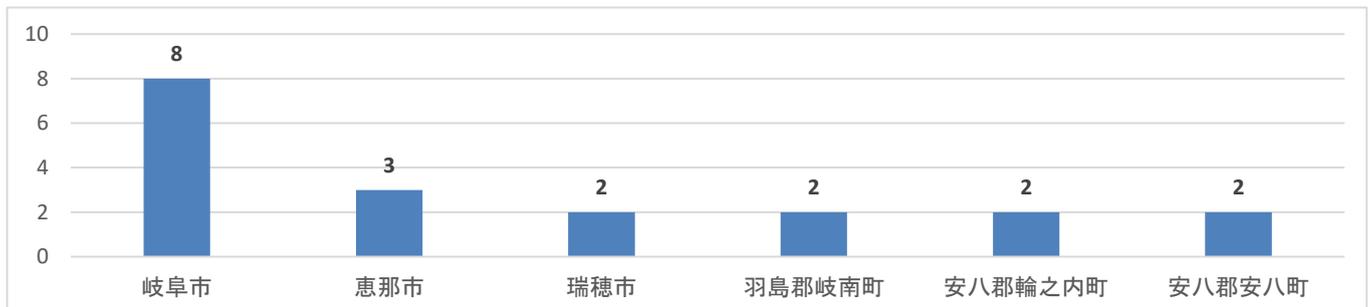
4 建物別発生状況

| 建物別 認知件数 | 戸建住宅 | 集合住宅(低層) | 集合住宅(中高層) |
|-------------|------|----------|-----------|
| | 24 | 0 | 0 |

※ 低層 ~ 2階建て以下
中高層 ~ 3階建て以上
※その他の建物 1件

※戸建住宅が被害の対象となっている。

5 市町村別発生状況



~ 忍込み被害防止のポイント ~

1. 在宅時も出入口、窓など確実な施錠を習慣づけましょう。
2. 家屋の外周には、侵入の足場になるような物を置かないようにしましょう。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 大きな音の出る防犯砂利やセンサーライト、防犯カメラを設置する等、2重3重の防犯対策が重要です。

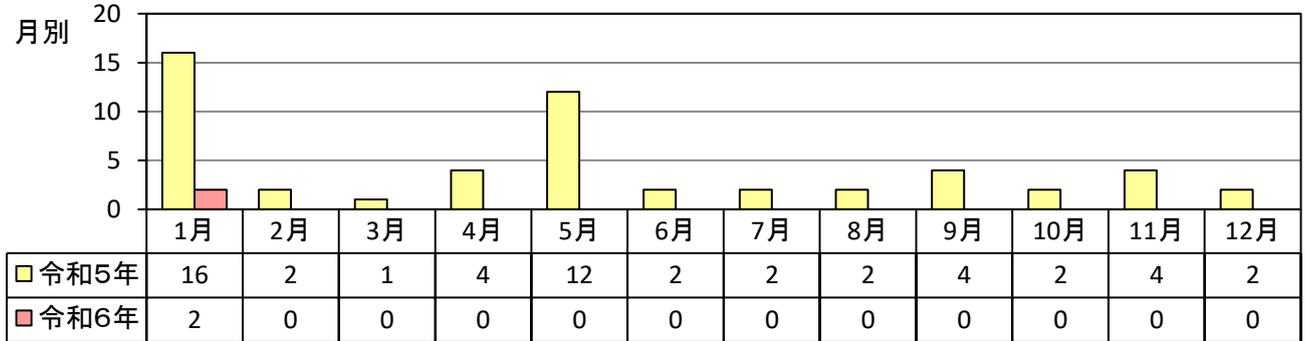
事務所荒しの発生状況(令和6年1月末)

侵入
犯罪

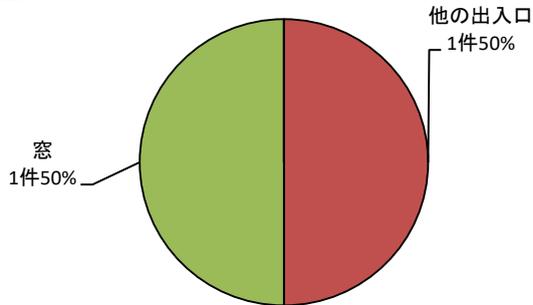
1 認知件数

| 認知件数 | 前年比 | 増減率 |
|------|-----|--------|
| 2 | -14 | -87.5% |

令和6年1月末、県内における事務所荒しは2件発生、被害総額は約669万円、前年比-14件(増減率-87.5%)となっており、約16日に1件発生しています。

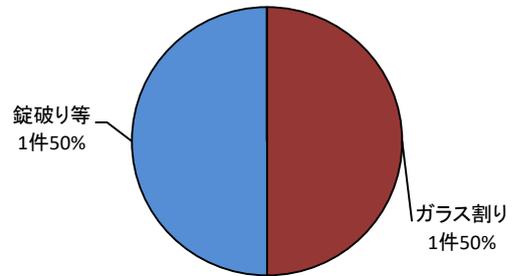


2 侵入箇所



出入口からの侵入被害は50%

3 侵入方法



ガラス割りによる被害は50%

4 建物別発生状況

| 建物別 | 会社・事務所 | 飲食店 | 他の商店 | その他 |
|------|--------|-----|------|-----|
| 認知件数 | 0 | 0 | 0 | 2 |

5 市町村別発生状況



～ 事務所荒し被害防止のポイント ～

1. 事務所の周辺や駐車場などに防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。
2. 警備会社によるセキュリティシステムを導入するのも効果的です。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 事務所が無人となる休日や夜間には、貴重品・現金等を置かないようにしましょう。

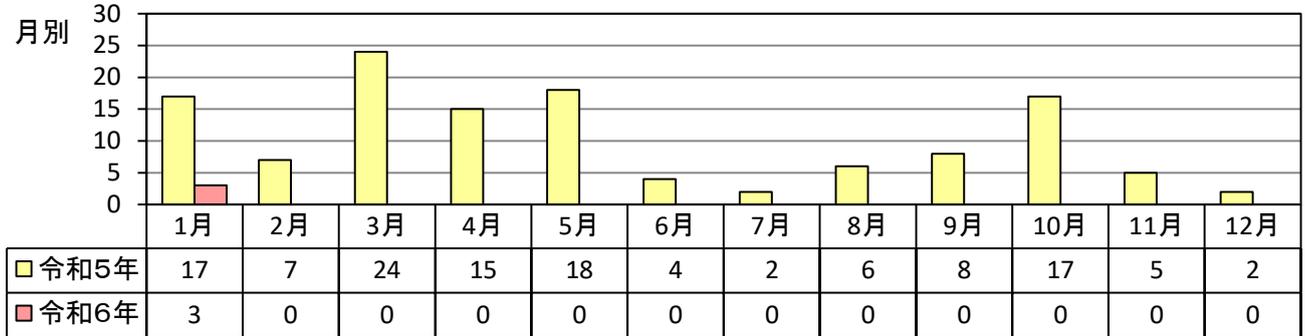
出店荒しの発生状況(令和6年1月末)

侵入
犯罪

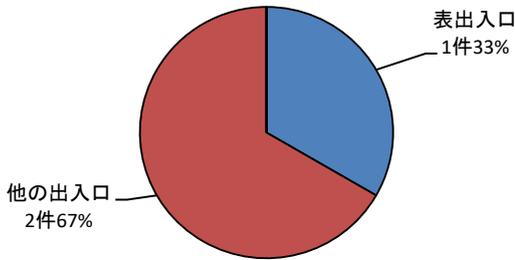
1 認知件数

| 認知件数 | 前年比 | 増減率 |
|------|-----|--------|
| 3 | -14 | -82.4% |

令和6年1月末、県内における出店荒しは3件発生、被害総額は約6万円、前年比-14件(増減率-82.4%)となっており、約10日に1件発生しています。

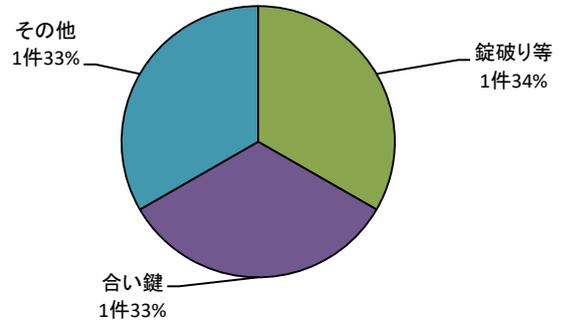


2 侵入箇所



出入口からの侵入被害は100%

3 侵入方法

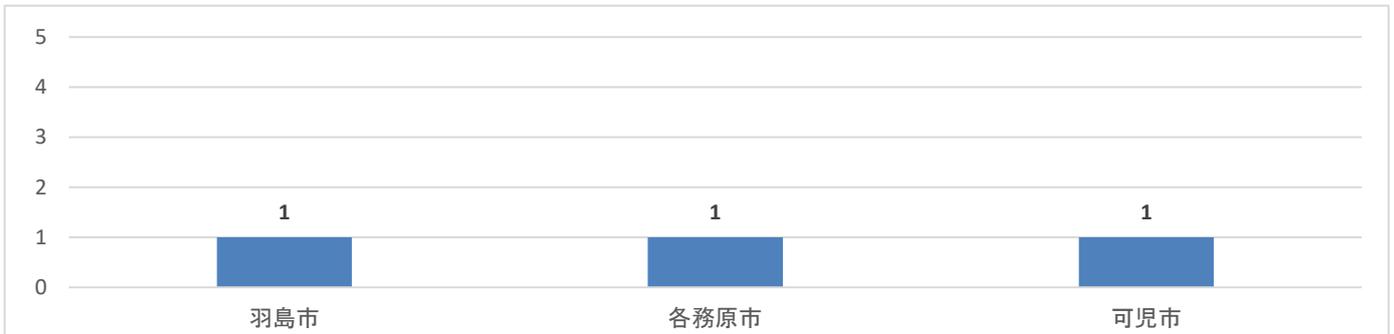


錠破り等による被害は34%

4 建物別発生状況

| 建物別 認知件数 | 飲食店 | 他の店舗 | 会社・事務所 | その他 |
|-------------|-----|------|--------|-----|
| | 1 | 0 | 0 | 2 |

5 市町村別発生状況



～ 出店荒し被害防止のポイント ～

1. 店舗の周辺や駐車場などに防犯カメラやセンサーライトを設置しましょう。
2. 警備会社によるセキュリティシステムを導入するのも効果的です。
3. 出入口や窓などの建物部品には、侵入に強い防犯建物部品(CP部品)を利用しましょう。
4. 店舗が無人となる休日や夜間には、貴重品・現金等を置かないようにしましょう。

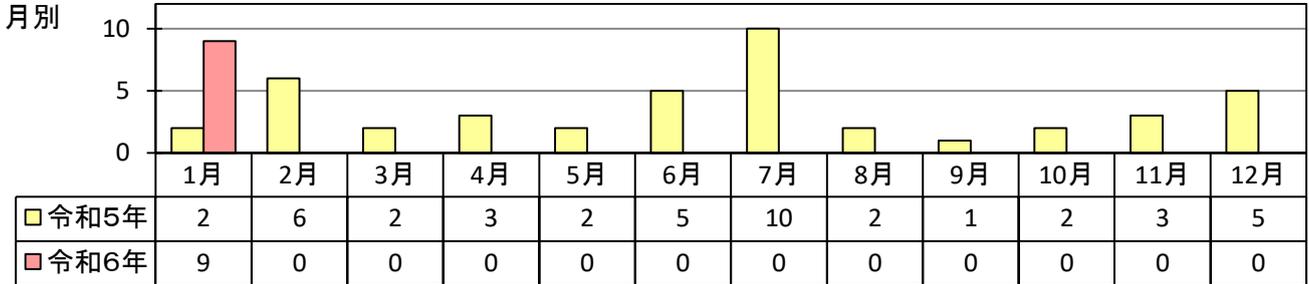
不同意わいせつの発生状況(令和6年1月末)

その他

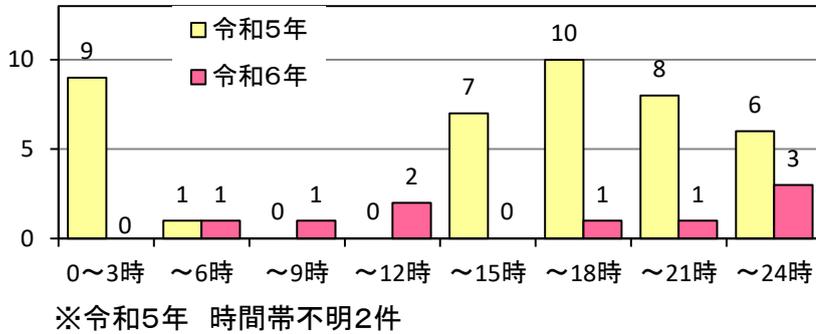
1 認知件数

| 認知件数 | 前年比 | 増減率 |
|------|-----|---------|
| 9 | +7 | +350.0% |

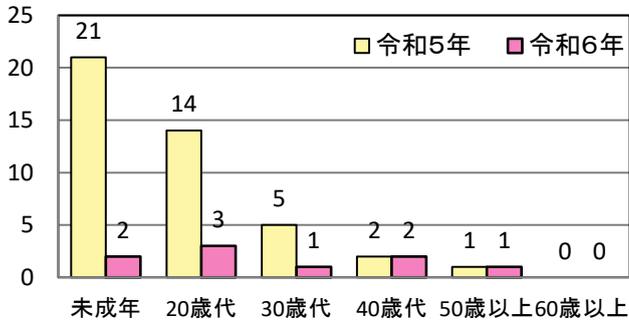
令和6年1月末、県内における不同意わいせつは9件、前年比+7件(増減率+350.0%)となっています。



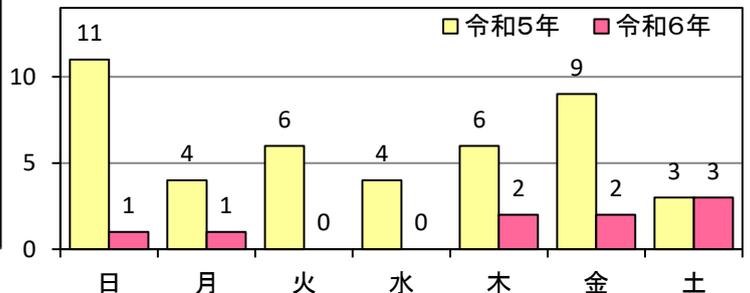
2 時間帯別発生状況



3 被害者の年齢



4 曜日別発生状況



5 市町村別発生状況



~ 不同意わいせつ被害防止のポイント ~

1. 夜間の外出は、街路灯に照らされ、人通りの多い道を歩きましょう。
2. 道路を歩く時は、イヤホン(音楽)などで耳をふさかず、周りを警戒しましょう。
3. 防犯ブザーなどの防犯器具を持ち歩きましょう。
4. 女性の一人暮らしの場合は、表札の名前を苗字にするなどして、一人暮らしを悟られないようにし、配達や集金を装う者が訪問しても、すぐには扉を開けず、ドアチェーンをかけて対応するよう心掛けましょう。

万引きの発生状況(令和6年1月末)

その他

1 万引きの認知件数

(1) 令和6年1月末

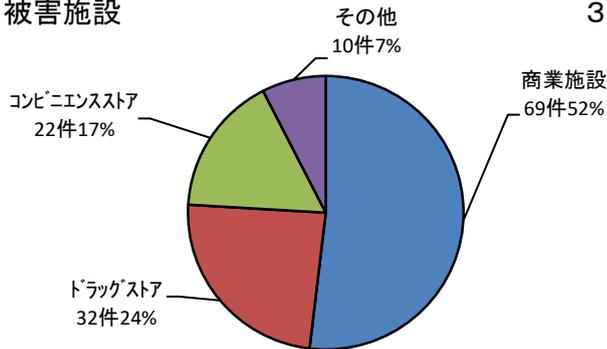
| 認知件数 | 前年比 | 増減率 |
|------|-----|--------|
| 133 | +28 | +26.7% |

(2) 月ごとの推移

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|------|-----|----|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 令和5年 | 105 | 99 | 122 | 99 | 122 | 117 | 96 | 110 | 118 | 109 | 141 | 106 | 1,344 |
| 令和6年 | 133 | | | | | | | | | | | | 133 |

令和6年1月末、県内の万引きの発生は133件、前年比+28件(増減率+26.7%)となっています。

2 被害施設



3 被害金額

| 順位 | 場所 | 被害金額(千円) |
|----|---------|----------|
| 1 | 商業施設 | 2,348 |
| 2 | その他 | 965 |
| 3 | ドラッグストア | 430 |
| 4 | コンビニ | 49 |

- ・ 商業施設における被害額が最も多い
- ・ ドラッグストアにおける一件あたりの被害額は、約13,500円

商業施設における被害は52%

※ 商業施設とは、デパート、ショッピングモール、スーパーなど

4 ドラッグストア対象万引き

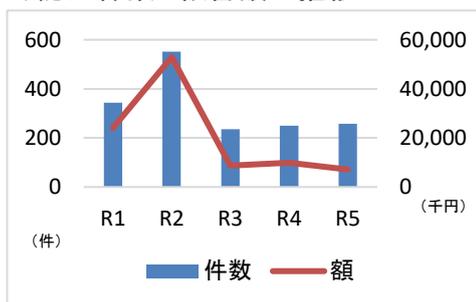
(1) 令和6年1月末

| 認知件数 | 前年比 | 増減率 |
|------|-----|--------|
| 32 | +14 | +77.8% |

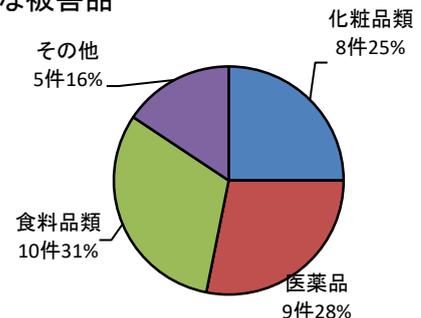
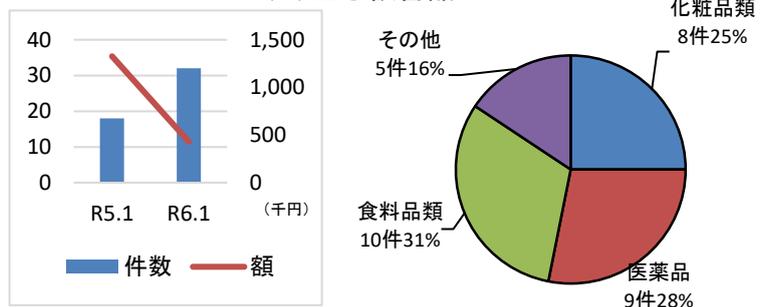
(2) 月ごとの推移

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合計 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|
| 令和5年 | 18 | 23 | 24 | 13 | 11 | 17 | 25 | 24 | 19 | 22 | 23 | 38 | 257 |
| 令和6年 | 32 | | | | | | | | | | | | 32 |

(3) 認知件数と被害額の推移



(4) 主な被害品



～ 万引きの被害防止ポイント ～

1. 来店客には、顔を見て「いらっしゃいませ」などと積極的に声掛けし、万引きをさせない雰囲気づくりに努めましょう。
2. 店舗内に死角が生じないように、商品の陳列棚等の設置場所や商品の陳列方法に配慮しましょう。
3. 売り場や店舗出入口のほか、駐車場等の店舗周辺にも防犯カメラを設置しましょう。